



ものづくり

プロの技🔨活かして社会貢献!

あすてでは、丘プロマイスター(丘 KOBA プロジェクトのマイスターの略、トヨタグループ及び関連会社ベテラン技能・技術者)がプロの技能を活かした社会貢献活動を行っています。



カンボジアの子ども達に自転車を

ASIACYCLE PROJECT



完成車 15 台 現地へ輸送

～贈呈式で歓喜の声!～

経済的理由で自転車を持たず通学に苦勞するカンボジアの生徒たちのために、日本で使わなくなった中古自転車をマイスターが修理してカンボジアへ送ろう! という事業が今年度から始まり、このほど 15 台の修理が完了し、プノンペン市街に位置するチュンカエブ中学校にて理事長出席のもと、2月17日に贈呈式が行われました。新品同様ピカピカに修理された自転車に驚きと感謝の声が上がっていました。

寄贈先については、学校関係者と教育長が責任を持って適切な方法を検討中。必要とする生徒のいる地区に貸し出し、共用で使用方法などを考えているということです。



中古自転車約 47 台があすてに寄贈 ↑



丘プロマイスターが丁寧に修理 ↑



15 台の修理が完了 ↑



コンテナに積み込み船便で送る(12/19) ↑



贈呈式で豊田理事長挨拶 ↑



海外教育支援 NPO 法人オアシスと協力してカンボジアへ届けました ↑



本当に中古?
新品みたい!



チュンカエブ校生徒と理事長(中央) ↑



“経験なし”からの自転車修理

この事業に関わったマイスターは 6 社の 26 名。隔週土曜日に 7~8 名で修理活動をしてきました。しかし、車作りは専門でも自転車修理は全く経験なし。構造や仕組みなど、一から調べながら試行錯誤の連続でした。唯一の救いは、メンバーの一人の趣味がロードバイクであったこと。メンテナンスのために自転車をよく分解していた経験が、このプロジェクトに活かされました。

2026年度

はじめの会

4月4日(土) 10:00~

場所:コスモスホール

内容:新年度方針、ボランティア個人登録 等

対照:2026 年度あすてで活動する方

設立記念日(12/11)を覚えて、あすでの意義を確認する日

あすでの日



—「つくる」ことにより笑顔あふれる社会を築く—

2026年12月に60周年を迎えるにあたり、「あすでの日」(12/13)に全グループが集い、ボランティアの原点である「つくる」ことで貢献していこうと、事例を聞いて各々がこれからの活動を考えました。事例紹介の「丘 KOBА プロジェクト」は、各プロジェクトを会社組織に見立てて、現場の技能技術者と次代を担う中高生が共にものづくりに取り組むことで、ものづくりの心と技を伝承しようというものです。理事長挨拶のあとに以下4社の発表があり、各グループが自分たちの「つくる」を考えました。

豊田理事長：あすでは、設立以来、手でボランティアすることを原則としてきました。ものをつくることはもちろん、例えば掃除、草取り、食事作り、縫物、修理、音楽を奏でること、人をいやすことなど手を使ってさまざまな活動があり、現在も続いています。手は心からの発信であり、心の動きによって手は動くわけですから、ボランティアの原点です。また、あすでは100社近い企業から賛助を受けています。貴重な財源を大切に使うために、ぜひ「工夫」をしていただきたいと思います。どうすれば課題を乗り越えて前へ進めるか、他に方法がないのかを考えてみましょう。また「SDGs」の17項目は私たちの活動の指針になります。来年度から5年間の中期目標は「笑顔の松明を広く遠く高く」。社会を明るく照らすためにあすでと共に歩んで参りましょう。

- 【事例発表：丘 KOBА プロジェクト4社】**
- ① **ミニ化-&エコ化工房社「近距離イージモビリティ」:** 高齢者支援を念頭に簡単に手に入るガスボンベを使ったコンパクトカーづくりを目指す。
 - ② **太陽精機社「ソーラーカー(電動車)」:** ものづくりの基本を学ぶためにソーラーパネルを使って10分走る車をつくって競争してみる。
 - ③ **E-moco 社「救急搬送モビリティ」:** 救護者を揺らさないで運ぶ救急車。
 - ④ **PEFIC 社「旧車とエコの融合モビリティ」:** 旧車は構造がシンプルで運転手の思いのままに運転可能。エコ車は静か。両者の良さを持つ車づくり。



加藤プロジェクトリーダーコメント：会社組織にしているのは、各自が役割を明確に認識して全体に貢献するよう意識するため。学校のように教えず、自らの手を汚し、たくさん失敗しながら自分で考えられる人材の育成を目指しています。4月から次のプロジェクトが2年周期で始まります。ぜひ応援してください。

ボランティアグループ「KANADE」 からくりオルゴールを豊田市に寄贈 (3/5)



今年度のグループの活動目標は「からくりじかけの手回しオルゴールを作成し、みんなに演奏を楽しんでもらえるように豊田市に寄贈する」こととしました。曲は「豊田市民の誓いのうた」に決定し、オルゴールの仕組みや材料の選択、音程、デザインなど様々な課題をメンバーで研究し、試行錯誤の末にやっと3月に完成させました。寄贈式には太田市長にもご出席いただき、実際にハンドルを回して演奏を体験していただきました。

このからくりオルゴールは、豊田市役所東庁舎2階の市民ロビーに常設され、誰でも体験できるようになりました。ぜひ一度、オルゴールを奏でてみてください。



太田市長(右)に説明をするメンバー (手前左端から3名)



からくりオルゴール↑
台車やトールペイントもボランティアの製作

ものづくりボランティアグループ活動



●【からくり】御作小学校へ出前授業（11/26, 27）

藤岡地区・御作小学校 5, 6 年生
9 名を対象に「糸ノコを使って作るクランクからくり」の授業を 2 日間にわたって開催。



●【ロボットと友達になろう】ロボットへの興味を育む教室開催（12/20）

ものづくり創造拠点 SENTAN
にて小学生 12 名にロボットの基礎を学ぶ教室を開催。



●【森のプレゼント】間伐材を有効活用したベンチをこども園に寄贈（1/30）豊田西ロータリークラブからの寄付金を元に間伐材を利用してベンチを作成し、市内の大林こども園と藤藪こども園にそれぞれ 2 脚ずつ寄贈。



●【Re:made】アクアポニクス実験中
魚と野菜を同時に育てる循環型農業を目指してあすてにて試行錯誤中。会社員のメンバー 2 人は活動と家庭を両立するために子どもが眠りについてから作業する日々。



第 2 回 ものづくりリンピック



— ものづくりの楽しさを感じよう！ —

3 月 20 日（金・祝）、あすてもものづくりボランティアグループをはじめ、企業の協力も得て、11 ブースが出展し 350 名が来場。企業からは「水素で走るミニ四駆作り&試走」「ベーゴマ作り&対戦」。ボランティアはブロック作品作り、からくりおもちゃやミサガ作り、手回しオルガン試奏等を出展。キッチンカーも数店あり、多くの親子が一日ゆっくり楽しみました。



枯竹にたましいを(あすてボランティアグループ) × (株)FTS



賛助企業の一つ、株 FTS は現在、竹の有効利用を目指すボランティアグループ「枯竹にたましいを」と共同でグレーチング（側溝のふた）の新素材のテストをあすてで行っています。材料を燃料タンク製造時の廃プラスチックと竹の混合物にすることで、低コスト、軽量化、施工性の向上をねらっています。



↑ 新素材のグレーチングは文字や QR コードなど自在にプリントすることができる

チャリティーの収益金を社会貢献団体へ寄付（2025.4~2026.3）



あすてには 36 の多様なボランティアグループがあり社会貢献団体に寄付をする目的で手作り品などをバザーで販売したり、演奏活動を行っているグループがいくつかあります。寄付方法は、各グループが直接団体へ寄付する方法とあすてボランティアで集約して各団体へ寄付する方法（下表）とがあります。



【あすてボランティアで集約したグループ】

GG33・チェロを楽しむ会・あすてらんち・しんあい・COOKPI MAMAS・百花の会・花水木・火俱野姫・ミニバザー・ほんわかマルシェ

【寄付先】

ハイチの会、愛知いのちの電話協会、NHK 海外たすけあい、国連 UNHCR 協会、オイスカ、アジア保健研修所 計 350,000 円



「未来学校」小中学生にもものづくり基礎を伝授



削る・締める/緩める・はかる・叩く/塗る・切る/曲げる

昨年度から始まった「未来学校」は、現場のプロである丘プロマイスターが小中学生に高い技能・技術と豊富な知恵や経験を伝えることで、ものづくりに興味を持ってもらうと開講したものです。ものづくりへの入口としてまずは「工具の使い方」をテーマに、10月から半年間かけて6回で学びました。

毎月第2土曜日、午前は小学3年～5年、午後は小学6年～中学3年を対象とする2クラス編成。最終回の3月は集大成として「エンジンの部品と組み立て」に取り組み、午前と午後のクラスを併せて16名が講座を修了しました。この講座は、2026年度も引き続き開催を予定しています。ご期待ください。



ものづくりに必要ないろいろな課題に取り組む ↑



丘プロマイスターとマンツーマンで実践に取り組む参加者 ↑

参加募集

あすて×豊田市次世代産業課 共催事業 **ものづくり道場 開講**



あすてと豊田市 産業部 次世代産業課の共催事業として、5月よりものづくり道場を開講します。ものづくり道場は、技能を身に付けたい人、設備を安全に使いたい人、生徒を指導する教職員など、技能を必要としている人が学べる場を提供したいという思いから、企画し立ち上げました。

従業員の技能習得・向上や新人教育、配置転換時の教育の補填、また、生徒指導のためのカリキュラム相談などの機会としてぜひご活用ください。

- ・講 座：普通旋盤（初級、中級）、普通フライス盤（初級、中級）
初級「設備を安全に使用するために」 中級「技能検定3級で使う加工技能」
- ・期 間：初級 4h×3日、中級 4h×5日 ※原則全日程参加可能な方
- ・会 場：あすて金 KOB A、ものづくり創造拠点 SENTAN ものづくりスペース ※日程により異なります
- ・対 象：中小企業の従業員、教職員
- ・参加費：無料
- ・持ち物：安全保護具（安全靴、保護メガネ、帽子）
- ・申込み：あすてホームページより（4月中旬ごろ申込フォームを掲載予定）

経験豊富な講師陣



横井さん(あすて)
機械加工、機械検査



西尾さん(SENTAN)
機械加工、機械製図



杉山さん(SENTAN)
電気組立



嵩下さん(あすて)
電気制御、設備保全



谷口さん(SENTAN)
研削加工



福田さん(SENTAN)
機械加工

あすての施設と設備



金 KOB A



普通旋盤



普通フライス盤



ボール盤

ものづくり創造拠点 SENTAN の施設と設備



SENTAN



普通旋盤



CNC 旋盤



NC フライス盤